

あべおうじじんじゃ
11. 阿倍王子神社



◆所在地

阿倍野元町 9 番 4 号

◆概要

阿倍王子神社は、大阪府下に唯一現存する熊野権現の王子社である。飛鳥時代に、阿倍野の地名の由来となった豪族阿倍氏の氏寺とされる阿倍寺があり、阿倍王子神社は阿倍氏の氏神とされている。しかし、遷都とともに阿倍氏も奈良へ帰郷し、平安時代には阿倍寺も四天王寺に併合されてしまう。この頃から熊野信仰が盛んになり、阿倍王子神社が熊野街道沿いにあり、四天王寺と住吉大社の中間に位置することから、熊野王子社「阿倍の王子」となった。熊野詣は平安時代から室町時代頃までが最も盛んで、途中の街道には熊野九十九王子と呼ばれた王子社ができた。「王子」とは、熊野三山の末社という意味で、京都から摂津、和泉を経て熊野に至る街道の途中に、休憩と選擇のために設けられた。阿倍王子神社の境内では保存樹に指定されている樹齢四、五百年のクスノキの巨木が枝を広げている。

げんしょうじろうもん
12. 源正寺楼門



◆所在地

阿倍野元町 18 番 34 号

◆概要

平成 14 年(2002 年)国の登録文化財に登録される。楼門は明治 22 年(1889 年)に建てられ、大正 12 年(1923 年)に上本町 6 丁目から現在地に移転された。大阪大空襲によって本尊などほとんどが焼失したが、楼門・経塚等が戦災を免れた。

知恩院末寺で、初重袴腰を塗込める竜宮造の楼門で、上層は出組、二軒繁垂木、入母屋造、本瓦葺とする。墓股や肘木の形式・絵様に近代らしい意匠が充溢するとともに、旧熊野街道に面し竜宮門として親しまれている。

13. はやし製菓本舗

せいかほんぼ



◆所在地

王子町1丁目7番11号

◆概要

あべの筋から1本東の通り位置する南北100mにわたる王子1丁目商店街には、お寿司屋さんや精肉店等が並んでおり、その中に、浪花ことばせんべいで有名な「はやし製菓本舗」がある。創業80年以上の老舗のせんべい屋で、浪花ことばせんべいには、「べっぴん」「はんなり」などの浪花ことばが1枚1枚に刻印されている。

14. 晴明丘中央公園

せいめいがおかちゅうおうこうえん



◆所在地

北島1丁目18番

◆概要

阪堺電軌上町線の線路沿いにある公園で、北島駅の南側に位置する。面積が約12,000㎡と広々とした公園で、樹木が生い茂り人々の憩いの場となっている。開園：昭和57年(1982年)3月。

あべのななさか
15. 阿倍野七坂



相生阪



みどり坂



みなみ坂



相親坂



さくら坂



みや坂



やしろ坂



◆所在地

北畠2丁目、3丁目

◆概要

阿倍野区の西側一帯は南北に続く上町台地の西端に位置し、起伏に富んだ地形になっている。安倍晴明神社、阿倍王子神社から熊野街道を南に下り、最初の十字交差点を西へ入ると、相生通に出る。相生通周辺やその南の阿部野神社周辺は、浸食によりいくつかの谷ができたため、坂の多い地形になっている。阿部野神社の社から名付けられた「やしろ坂」、正面参道に続く坂道の「みや坂」といった神社に由来している坂をはじめ、かつては名前の通り桜並木の美しかった「さくら坂」、他にも「みどり坂」や「みなみ坂」がある。また、相生通にある相生郵便局の角から北に上る細くて急な坂道は「相親坂」と呼ばれており、相生通の人たちが王子町方面へ買い物に出かけるとき、この坂の下でよく出会い挨拶を交わしたことから名前がついたと言われている。その東側にあり南へ上る坂道は、「相生阪」と呼ばれている。紀州街道の天神ノ森から東へ延びる町並みが、坂付近で相接するので名前がついたと言われている。

きし ごほんまつ
16. 岸の五本松



◆所在地

北畠2丁目4番

◆概要

「岸の五本松」と呼ばれる松の木が府立住吉高校正門の西筋向い、グラウンドに沿って残されている。古くはこの界隈にも松林が続き、松の木が多く茂っていたが、市街化され、住宅地となり、わずかに5本の松だけが道路沿いに残された。現在は、1本が枯れて4本になっているが、地域の人々は、岸の姫松との由緒を大切に思い、「岸の五本松」と呼んで長く親しまれている。